

環境・エネルギー教室 I

わたしたちの暮らし エネルギーと環境

中部電力株式会社



プログラム概要

日本是世界有数のエネルギー消費大国です。限りあるエネルギー資源を中心としたエネルギー事情を見つめ、それに伴う地球温暖化のしくみや影響、発電との関わりについて、スライドやクイズを通して一緒に考えます。

対象者	小学生、中学生	実施可能エリア	愛知県、岐阜県、三重県、長野県、静岡県(富士川以西)
テーマ	環境教育(理科)	対応可能日	平日授業
費用	全て無償	主な開催場所	学校
所要時間	45分	対応条件	特になし

【活動のきっかけ】

出前教室については、以前からも地域からの要請によりそれぞれの事業場でニーズに応じた内容を実施していましたが、平成14年度の新学習指導要領がスタートした時期を契機に「学校教育への支援」を次世代広報の最優先課題の一つとして位置づけ、「企業の社会的責任」、「エネルギー理解促進」、「地域との関係づくり」の3つを目標に掲げて、出前教室、職場見学、PR展示館での環境・エネルギー学習支援等に取り組んでいます。

教材の制作に当たっては、教育関係者(教育委員会、大学、小・中学校)の協力を得ながら進めました。

教壇に立つことになる社員に対し、子供たちへのわかりやすい授業の実現のための研修を実施しています。また、中部電力営業エリアの小・中学校や教育委員会に対し、広く御活用いただけるよう機会を捉えPRを行っています。



活動の特長・工夫

① 楽しく学べる手法

社員が学校へお伺いし、エネルギーや環境などについて実験やクイズなどを交え、楽しく学びます。

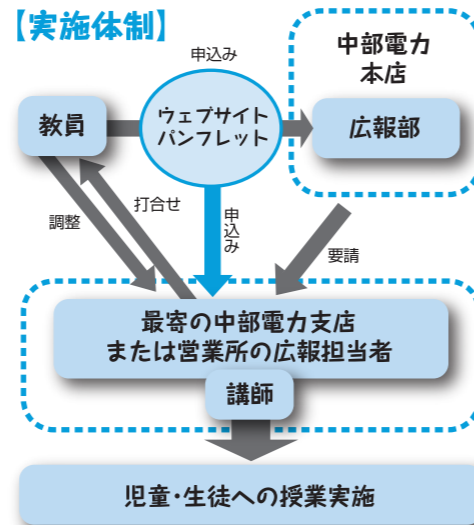
② わかりやすい教材

映像や教材の下敷きを使い、わかりやすく説明します。

③ 当社担当社員との調整

お申込みをいただいたのち、日程や授業内容等担当者が調整をさせていただきます。

【実施体制】



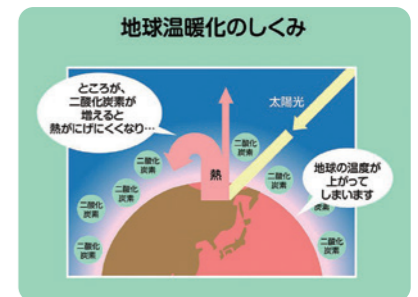
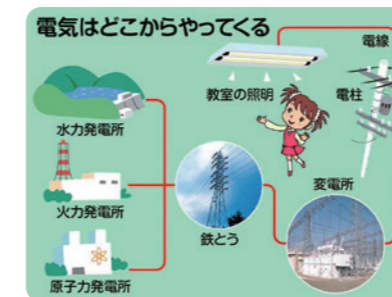
プログラム内容

【ねらい】

- これからのエネルギー問題について、自ら考えるきっかけとなる構成です。
- 日本のエネルギー事情と限りあるエネルギー資源について学びます。
- 発電による地球温暖化への影響とその対策について理解を促します。

【進行概要(時間・内容)】 45分

- STEP1 (7分) 導入 光り輝く星地球(光り輝く夜の日本)／電気をつくってみよう！(発電実験)**
夜の地球の画像で、日本はたくさんの電気を消費していることの気付きと、発電実験により、電気をつくるためにはエネルギーが必要であることの気付きを与える。
レクチャー
- STEP2 (7分) 電気のはなし**
電気が発電所でつくられ送られてくること、また、主な発電方法(水力・火力・原子力)を紹介し、発電に使われるエネルギーのもとについて理解してもらう。
ワーク
- STEP3 (9分) エネルギー問題① 限りある資源**
電気をはじめ、日本はたくさんのエネルギーのもとを海外から輸入して使っていること、なおかつ、資源には限りがあり、深刻な問題であることを理解してもらう。
ワーク
レクチャー
- STEP4 (5分) エネルギー問題② 地球温暖化**
地球温暖化の仕組みと、その原因である化石燃料の使用、発電との関わりを説明して地球温暖化としてのエネルギー問題について理解してもらう。
ワーク
レクチャー
- STEP5 (10分) 発電方法のはなし 授業のまとめ**
様々な発電方法の長所・短所を説明するとともに、それぞれの長所を生かして組み合わせたエネルギーミックスの必要性についての理解を促す。
- STEP6 (7分) おさらいテスト**



児童・生徒の声

エネルギー資源である化石燃料は限りあることがわかった。

保護者の声

子供のころからの意識付けが大切であるため、どんどん実施するべきだと思います。

教員の声

実験機材など学校では準備ができないものを使っている授業はありがたい。

本プログラムのポイント

- エネルギーと環境問題について理解する。
- エネルギー資源について理解する。
- 地球温暖化について自分たちでできることを考える。

今後の展望

社員のスキルアップを図り、わかりやすい授業に努め、機会を捉えたPRをするなど、引き続きより多くの学校で活用いただけるよう展開していきたい。

企業・団体連絡先:

中部電力株式会社 広報部計画グループ
〒461-8680 愛知県名古屋市中区東新町1
TEL: 052-973-2132 e-mail: Bunka.Web@chuden.co.jp